

○申込み方法：下記 Google フォームから事前申し込みをお願いします。

・URL: <https://goo.gl/forms/YNwxBlnsVT9fTbMi1>



## ○登壇者プロフィール

(1) 太田泰彦 (おおた・やすひこ) 日本経済新聞記者。編集委員兼論説委員。1985年に日経新聞に入社。ワシントン、フランクフルトに駐在。2004年より編集委員兼論説委員。一面コラム「春秋」の執筆を10年間担当した。15年にシンガポールに取材拠点を移し、地政学、通商、外交、イノベーション、国際金融などをテーマにアジア全域で取材。2017年ボーン・上田記念国際記者賞を受賞した。18年4月に東京に帰任。BSテレ東の報道番組「日経プラス10」のキャスターも務める。趣味はクラシック音楽と能楽。観世流シテ方梅若会で仕舞と謡を稽古している。近著に「プラナカン～東南アジアを動かす謎の民」(日本経済新聞社刊)。北海道大学理学部卒。米マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院に留学、科学技術・公共政策を学ぶ。

(2) 川瀬剛志 (かわせ・つよし) 1990年慶應義塾大学法学部卒業。1994年ジョージタウン大学法科大学院修了(LL.M.)。神戸商科大学(現・兵庫県立大学)、経済産業省、大阪大学等を経て現職。(独)経済産業研究所ファカルティ・フェロー、経済産業省産業構造審議会通商・貿易分科会特殊貿易措置小委員会委員長。2018年「T20」政策提言作成者(貿易・投資等タスクフォース)。著書に『地球温暖化対策と国際貿易：排出量取引と国境調整措置をめぐる経済学・法学的分析』(2012年 東京大学出版会)、『WTO紛争解決手続における履行制度』(2004年 三省堂)など。

(3) 戸堂康之 (とどう・やすゆき) 1991年東京大学教養学部卒業。2000年スタンフォード大学経済学部博士課程修了(経済学 Ph. D. 取得)。南イリノイ大学、東京都立大学、青山学院大学、東京大学を経て現職。(独)経済産業研究所ファカルティ・フェロー、経済産業省産業構造審議会通商・貿易分科会国際協力・インフラシステム輸出小委員会委員。2018年「T20」政策提言作成者(貿易・投資等タスクフォース)。著書に『開発経済学入門』(2015年、新世社)、『日本経済の底力』(2011年、中公新書)、『途上国化する日本』(2010年、日本経済新聞出版社)など。